

委員会要旨

日 時	令和7年3月17日(月) 午前10時00分から午前11時30分まで
場 所	中央公民館 講義室
件 名	第16回軽井沢町庁舎改築周辺整備事業推進委員会
出席者 委 員	委員：池田靖史委員、小林美智子委員、大町哲也委員、外川樹美代委員、 田村恵美委員、佐藤公貴委員、小林広幸委員、饗場晴雄委員、篠原幸雄委員、 佐藤一郎委員、福原未来委員、柴崎雅寿委員、野村有里委員、船曳鴻紅委員、 大工原亮子委員、堀内勉委員、山崎元委員、上田公三委員、本城慎之介委員 設計者：山下・三浦JV 4名 町：土屋町長、小池副町長 事務局：新庁舎周辺整備課 土赤課長、佐藤主任、柳澤 ：生涯学習課 森補佐、新海館長 ：小林アドバイザー 欠席：佐藤絵理委員、小林久史委員、小林里恵委員、島崎直也委員、堀池玲子委員
1. 開 会	
2. 議 題	
(1) 庁舎周辺整備事業基本計画(案)について	町長より基本計画(案)の重要なポイントについて説明を行った後、小林アドバイザーより建築単価に関する説明。その後、事務局より基本計画(案)の修正点について説明。
【主な議論】	
(委員) 全国での建築単価に増加がみられるという説明だったかと思うが、軽井沢単体での建築単価の増加についての数字はあるのか。	
(委員) 住宅を建設する際は軽井沢価格があると感じるが、公共施設のような大きな建物を建設する際も軽井沢価格のようなものはあるのか。	
(小林ア) 金額面等の数字は無いが、宿泊施設の建築数が上がるのは確実だといわれている。そのため、工事を担う職人不足が予想され、町外から職人を呼ぶとすると宿泊費等の費用が掛かってしまうため割高になってしまうと考えられる。	
(委員) パブコメについても委員会で回答を議論したらどうか。	
(事務局) 委員会内で議論した内容を踏まえてパブコメの回答を作成している。委員会では都度議題もあるため、回答を委員会内で考えるというのは想定していない。	
(委員) 各区への説明会は来ている人が少ないうえに、周知が足りていないのでは無いか。	
(町長) 区長にもお願いして周知をしてもらっていたため、意見が無い場合や来ない人については任せたと いう意思表示だと感じている。 また、今後も意見を聴く機会は設けたいと思っているため、もう一度やって欲しい等あれば伺う。	
(委員) 事業費が14%の上振れリスクがあると説明してもらった事で皆さんの理解に繋がったかと思うし、町の財源、財政的にも影響ないという事で安心したが、これからのリスクを潰すためにも14%上がると142.5億円になるという事を議事録に残しておきたい。	
(町長) 総事業費が14%あがるとすると142.5億円になるが、実際に関連するところは建設費だけになるし、仮に142.5億円だとしても財政的には適正レベルである。 できるだけ金額を落とすのはもちろんのことだが、総額で出したときに疑義が生じる可能性もあるため、町民の理解を深められることは最大限努力していきたい。	
(委員) 土屋町長就任の前から110億、120億が目安としてあったと思うが、それより高くなっているのは見直しが出来ていないのではないかと感じる。	
(町長) 見直しにより、事業費が安くなるのではという期待があることについては理解しているが、そもそも110億円として出ていたものが総事業費ではない。	

これまでも説明してきたが、見直し前の総事業費を出したこと、さらには見直し前のまま現在やっていたら162億円になる事が記載してあること、見直し前後の金額比較を現在の単価で行ったとき40億前後の削減に成功していることを理解していただければと思う。

(委員) 委員会の時間が2時間では議論しきれず短いと感じるため、3時間ぐらいにしてはどうか。

(事務局) これから設計に入っていくためそこも加味して委員会の立て付けを考えていく。

(委員) 社会教育委員会の中で諸室構成についての議論があったが、基本計画への記載はしないのか。また記載しない場合はこれから検討していくこととなるのか。

(事務局) 今後検討していく事項となるので基本計画には検討していくと記載している。

(委員) 交流センターのコンセプトはあるのか。

(事務局) 「ここに来れば誰かがいる」といった住民が気軽に利用できるといったものから、学生も寄れるようになどのコンセプトは基本計画に記載しているが、設計に入っていく中で新たに良いものがあれば検討していきたい。

(2) その他

- ・パブリックコメントの回答は今週中に公表予定。
- ・17回の委員会は3か月後の7月頃開催予定

3. 閉会

以 上